

【平成 27 年度業務実績評価書】正誤表

「Ⅱ－1 業務運営の効率化」

「3. 各事業年度の業務に係る目標、計画、業務実績、年度評価に係る自己評価及び主務大臣による評価」欄中、
「法人の業務実績・自己評価」欄

該当箇所	正	誤
<p>P85 37行目</p> <p>＜主要な業務実績＞ (2) 随意契約等の見直し ①契約に係る競争の推進 イ. 一者応札・応募に関する改善</p>	<p>前年度に一者応札・応募が5件発生したこと等を受け、平成27年度は下記取組を実施したが、<u>参加意思確認型公募の実施の結果、一者応札・応募が2件発生した。公募の実施にあたっては、契約監視委員への事前説明と承認を得た上で、調達を行った。</u></p>	<p>前年度に一者応札・応募が5件発生したこと等を受け、平成27年度は下記取組を<u>実施し、一者応札・応募の発生はなかった。</u></p>
<p>P85 5行目</p> <p>＜評定と根拠＞ (2) 随意契約等の見直し ①契約に係る競争の推進</p>	<p>平成27年度に締結した契約において、サイバー攻撃に備えた情報セキュリティ対策の強化のための契約等、緊急性、秘匿性のため随意契約とした3件を除いては、競争性のある契約（企画競争・公募を含む）に付した。また、一者応札・応募の発生は<u>参加意思確認型公募の結果、2件であった。</u>類似業務に係る集約化を進めることにより、コストの縮減等を図った。</p>	<p>平成27年度に締結した契約において、サイバー攻撃に備えた情報セキュリティ対策の強化のための契約等、緊急性、秘匿性のため随意契約とした3件を除いては、競争性のある契約（企画競争・公募を含む）に付した。また、一者応札・応募の発生は無く、<u>類似業務に係る集約化を進めることにより、コストの縮減等を図った。</u></p>

※主務大臣評価の検討について

修正後の27年度の一者応札・応募件数・金額は2件・35百万円と、前年度である26年度の5件・46百万円をなおも下回っていることから、標準の評定である「B」のままとする。